

議 会 だ よ り

松 崎

No.140

令和5年7月13日



《主な内容》

第2回定例会（6月6日～6月7日）

- 令和5年度一般会計補正予算……………2
- 令和4年度企業会計決算……………3
- 議員会町内視察……………5
- 町政を問う 一般質問に6議員……………6

「吉田池・半夏生」



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



議会だより、定例会一般質問動画は松崎町議会ホームページでも視聴可能です。

令和5年6月定例会

令和5年第2回定例会が、6月6日から7日までの2日間で開催されました。

本定例会では、令和5年度補正予算案など9議案について審議を行い、原案どおり可決・認定・同意しました。

一般会計補正予算

補正予算(第3号)は、歳入歳出にそれぞれ85億13万9千円増額し、補正後の額を4億3902万8千円とするもの。



6月定例会 議場の様子

問 これまでのプレミアム商品券がどのように使われたか検証をしたか。

答 企画観光課長 商品券は取扱店舗の約9割の店舗で利用されていた。飲食店の利用が多いが、車検や家の修繕など日常生活に必要なものに幅広く使われていた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した価格高騰重点支援給付金事業、プレミアム商品券事業の他、新斎場整備事業負担金、桜葉生産振興補助金などが追加計上された。

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使い道は。

答 総務課長 交付金は7893万2千円で、プレミアム商品券事業に4155万7千円、価格高騰重点支援給付金事業(価格高騰に対する住民税非課税世帯などへの支援金1世帯当たり3万円)に3737万5千円を充てる。

問 車両の購入事業2件を繰越明許する理由は。

答 総務課長 自動車会社に確認した結果、部品の調達などの関係で納車に1年以上かかる可能性があるため。

賛成討論

地方創生臨時交付金を活用した物価高騰に対する非課税世帯への支援や町内での消費喚起と物価高騰による家計の負担軽減を図るためのプレミアム商品券事業が主なもの。物価高騰、経済対策は、町民の生活に直結するものなので、早期の事業執行をお願いし、賛成する。

条例・規約

◎松崎町国民健康保険条例の改正
地方税法施行令の一部が改正されたことに伴い、

松崎町国民健康保険条例の後期分の賦課限度額を、国の法定限度額に合わせ、2万円増の22万円に改正するもの。

令和5年度分の国民健康保険税から適用。

◎静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更
下田市、南伊豆町、松崎町および西伊豆町で構成する南伊豆地域清掃施設組合が静岡県市町総合事務組合に加入し、非常勤職員公務災害補償事務を共同処理するため、規約の一部を変更するもの。

人事

◎固定資産評価審査委員会委員の選任
固定資産評価審査委員会委員の山本眞一郎氏が

令和5年5月13日で任期満了となり、再任したものの。

令和4年度
企業会計決算

決算の概要は、広報まつぎ7月号をご覧ください。

水道事業

給水戸数は3448戸（前年度比8戸減）、年間総有収水量は75万4707立方メートル（前年度比2万2102立方メートル減）となった。

総費用は、8月の台風災害対応と燃料費高騰による動力費の増大などにより1億5021万6千円（前年度比22・8％増）となり、総収入は、費用の不足を補うため、一般会計から2875万1千円を繰り入れ、1億5750万3千円（前年度比20・5％増）となった。

令和4年度の決算において、料金水準の妥当性を示す料金回収率は84・2％で、事業に必要な費用

用を給水収益で賄えていない状況となっている。また、流動比率も105・7％で危険水準（99％）に近づいており、料金の値上げが必要な状況になっている。

問 今後、水道料金の値上げが必要とのことだが、どのくらい値上げするか。また、それは、近隣に比べて安いのか、高いのか。

答 生活環境課長 以前の計画では、令和3年度までに20％程度の値上げが必要としていたが、コロナの影響もあり、予定していた値上げを見送ってきた。既に20％上げてきた。既に入らない状況にだけでは賄えない状況になっている。本年度策定する経営戦略による財政計画、投資計画を基に試算して、令和6年度に公営企業委員会などに諮り、料金を決定し、令和7年度に値上げをする予定。現在の水道料金は、郡内で下から2番目。

問 令和7年度の料金改定まで一般会計からの繰り入れを想定しているのか。

答 生活環境課長 値上げをしないため、費用の不足が生じる可能性が高く、令和5年度は既に予算化されている。令和6年度と、場合によっては令和7年度当初も必要となる。

問 事業における電気料値上げの影響は。

答 生活環境課長 動力費が前年度決算に比べ約600万円増額となった。水道の場合は、高压電力を使用している施設があるため、影響が大きい。

問 災害時に備え、今後給水車の購入の考えは。

答 生活環境課長 現在は、トラックにタンクを積んで対応している。操作性などを考えると購入を検討したいところではあるが、費用面で今すぐとはいれない。

問 今後の管路の更新の計画は。

答 生活環境課長 当面は、道路の改良工事に合わせて、合理的に更新をしていく。

温泉事業

契約給湯戸数は自家用314戸、営業用30戸、契約供給量は自家用で3口の権利放棄があったため、2110立方メートル毎分となっている。

権利放棄や自家用休止により供給収益が減少し、総収入は、5712万9千円（前年度比0・1％減）となり、総費用は、5167万4千円（前年度比1・9％減）となった。その結果、差引純利益は545万5千円（前年度比21・9％増）となった。

未処分利益剰余金は、建設改良積立金に500万円、利益積立金に50万円を積み立て、残りを繰り越しとした。

問 以前、期限付きの温泉権利などで加入促進を図ったことがあったが、現在は加入促進の広報をどのようにしているか。

答 生活環境課長 使用しなくなった温泉の権利が安価で譲渡されている実情もあり、200万円の新規加入者を増やすことは現実的には厳しい。権利放棄される方もいるので、使わなくなった方の権利をうまく引き継いでいくことも考え、温泉デリバリーなどを使って温泉の魅力を発信している。

問 鮎川3号源泉から農業者に温泉を安く提供し、うまく農業と温泉を結びつけられないか。

答 生活環境課長 3号源泉は流出量が少なく、給湯する場合、施設を整備し、動力によるくみ上げが必要となるため、農業だからといって安価での提供は厳しい。

伊豆まつぎき荘事業

「今こそしずおか元氣旅」や「全国旅行支援」の効果により好調に推移し、宿泊利用者は2万1

787人で前年度比74.4・1%（前年度比13.1%増）となった。

旅行需要は回復傾向にあり、以前の状態に戻りつつあるものの、団体の会食利用者がほとんどなかった。

結果、総収入は2億7908万4千円（前年度比51.6%増）、総費用は2億9089万1千円（前年度比23.0%増）で、1180万7千円の赤字決算となり、当年度未処理欠損金は2億8778万9千円となった。

問 コロナの行動制限がなくなり、客足が戻ってきたと思うが、借入金の返済の用途は。

答 企画観光課長 既存の借入金は、償還期間が

決まっている。令和6年度まで返済猶予があり、令和7年度から毎年約3900万円を返済していく。

問 伊豆まつぎき荘にふるさと納税の自動販売機を置く考えは。

答 企画観光課長 自動販売機の導入について検討はしているが、導入に費用がかかるため、現状としては難しい。状況を踏まえて導入を検討していきたい。

問 県知事が、県あるいは伊豆半島に修学旅行の誘致をしていきたいという話がある。県と連携して、伊豆まつぎき荘で戦略を立てて誘客する考えは。

答 町長 県は駿河湾の魅力について力を入れている。グリーンツーリズムを強化し、体験旅行など新しい営業先を見つけ、積極的な営業活動をしていく。

問 現在休止している朝食バイキングの今後の予定は。

答 企画観光課長 宿泊者の朝食バイキングは、7月から再開を予定している。宿泊者以外の受け入れについては、料金、時期など検討している。

問 伊豆まつぎき荘の外国人利用者はどのくらいいるのか。

答 企画観光課長 令和4年度は16人。コロナが終息に向かい2月、3月で増えてきた。

問 インバウンドの誘致に向けたトップセールスを行う考えは。

答 町長 美しい伊豆創造センターや賀茂地域の町も以前から台湾などと交流があるので、積極的に営業活動をしていきたい。また、受け入れ体制もしっかりと指導していきたい。

第2回定例会の賛否状況一覧

議会名	議案番号	件名	藤井昭一	菜野良枝	高橋良延	田中道源	小林克己	高柳孝博	藤井要	議決状況
第2回定例会	議案第41号	松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第42号	静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第43号	令和5年度松崎町一般会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第44号	令和4年度松崎町水道事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第45号	令和4年度松崎町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第46号	令和4年度松崎町温泉事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第47号	令和4年度松崎町温泉事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第48号	令和4年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎき荘」事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第49号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	同意

賛成：○ 反対：×

工事の効果などをチェック 議員会町内視察

6月25日、議員会は、令和4年度に施行された工事箇所の中から11カ所を選定し、現場視察を実施した。

主なものは次のとおり。

◎長八美術館外壁補修工事 (松崎)

(工事費 341万円)
劣化した長八美術館の外壁補修を行ったもの。民芸館のモニユメントも老朽化しているため、修繕を検討していただきたい。

◎町道根岸線転落防止柵補修工事 (江奈)

(工事費 367万円)
松崎中学校の正門手前の町道に設置されていた腐食した転落防止柵を撤去(撤去工102万円)し、新しく防護柵を設置(設

置工105万円)したものを。補修が完了し、安全に歩道を通れるようになった。



補修された転落防止柵

◎松崎町立松崎小学校空調設置工事 (宮内)

(工事費 480万円)
児童の熱中症対策、学習環境の改善を図るため、国の学校施設環境改善交付金を活用し、松崎小学校1階の保健室の空調の

入れ替えと児童会室、3階の音楽室に新たに空調が整備された。理科室や調理室などの特別教室には未設置なので、中学校と併せて計画的に整備していただきたい。



音楽室に設置された空調設備

◎雲見急速ろ過装置等設置工事 (雲見)

(工事費 2068万円)
令和4年8月の台風8号により、雲見入谷地区で土砂崩れが発生し、同地区の配水池が被災したため、雲見原水調整池付近に急速ろ過装置と給水

今後の同地区の水道整備の方針について、区民へ説明していただきたい。



設置された急速ろ過装置など

◎雲見風早地区治山工事 (雲見)

(工事費 928万円)
普通河川入谷川1号支流は、過去に台風などの大雨で度々河川の浸食による土砂の流出を繰り返しており、河川を横断する町道が通行止めになる被害が生じている。近年は、平成30年、令和2年と短い期間で被害を受けていたことから、今回整備したものを。工事を担当する職員が

不足しているという課題があるが、今後も計画的に工事を進めていただきたい。



河川改修工事 (完成区間)

◎石部水門改修工事 (石部)

(工事費 2288万円)
老朽化していた石部水門の非常用発電装置を更新したものを。今回、発電装置は更新されたが、水門の機械室の壁の老朽化が著しいため、修繕が望ましい。

町政を問う

問 医療の確保は

答 遊休施設の活用を検討



高柳孝博 議員



答 (町長)
かかりつけ医は、個々の病状や医師が専門とする診療科目により異なるため、広範囲になると考える。

問 被災時の救護所が1カ所の計画で足りるか。
答 (町長)

計画では、医師1人に対し、看護師、薬剤師、保健師、事務職員各1人を基本とする。限られた人員の中で最善を尽くす。

問 広域災害時に遠方からの支援で対応できるか。
答 (町長)

県の広域計画では、あらかじめ災害拠点病院を指定し、重症患者の搬送体制や医療に係る広域支援、広域受援体制を整備するとなっている。

また、災害派遣医療チームも災害発生直後に活動ができる機動性をもっており、被災地域での病院支援、地域医療搬送、現場活動などにあたる。

今、予算をかけて診療所をやるのが良いか、医師が、この地域のある遊休施設を使って診療ができないかを検討している。

問 ゴミ訪問収集は

答 個別収集の予定なし

問 ゴミ出しが困難な方への訪問収集の考えは。
答 (町長)

町として個別収集を行う予定はない。現在、社会福祉協議会へ委託してハートアンドヘルプ事業(※)を実施しているが、支援者の不足もあり事業

の見直しを含め検討する。

問 支援センターは

答 近隣施設を参考に

問 子育ての支援として財政支援の他に、一時預かりや子育て相談をする子育て支援センターを開設する計画はどのようなものか。
答 (町長)

現在、子育て家庭を支える取り組みを児童館が担っているが、近隣の自治体を参考にして設置の是非を検討する。

問 医院医師の確保について、民間医師の開院支援にどのようなアクションをしたか。

答 (町長)
開院支援については、他業種の支援とのバランスもあり、相手方と支援内容を交渉していく。

問 今後の取り組みの計画はあるか。

答 (町長)
今後の計画については、訪問診療や巡回診療などについて、医師をはじめ

関係者の方々と意見交換、情報共有をしていく。

問 災害時や将来なくなるといった危惧の解消は。

答 (町長)
津波被災時や医師の確保は、西伊豆健育会病院や下田メディカルセンターをはじめとした近隣医療施設と連携して進める。

問 かかりつけ医は近くにある方が良いとの考えはあるか。

※ハートアンドヘルプ事業
(地域支え合い型福祉サービス)
あらかじめサービスを提供できる方を登録し、有償でお手伝いするシステム。



河津町地域子育て支援センター



地域防災訓練の様子



菜野良枝 議員



問 各施設と総合訓練を

答 実施について協議したい

問 防災訓練の現状は。

答 (町長)

ここ数年はコロナの関係で人を集めての訓練を行う地区が少なく、家庭内訓練が多くなっている。

問 夜間の防災訓練を行う考えはあるか。

答 (町長)

いつ起こるか分からない多様な災害に対する防災意識の向上のためにも検討が必要。

問 学校、松崎町振興公社など、関連施設で総合的な防災訓練を行うことはできないか。

答 (町長)

現在行われている各施設に応じた訓練に加え、町との情報連携訓練などの実施について協議したい。

問 実際を想定した訓練にするため、9月1日が平日の場合、訓練を地元参加ではなく、学校で行うことはできないか。

答 (教育長)

今年度行えるかはわからないが、校長会で協議し、実施できるように訴えたい。

問 鮎川に予定している

防災公園が身近な場所になるよう健康・福祉・教育・観光の観点でいろいろなアイデアを出せる機会をつくれぬか。

答 (町長)

具体的な計画は決まっていないが、日常使いができる避難場所としたいので、地域の方や専門の方からも広く意見を聞く機会は設けたい。

問 命を守る防災には、

自身で避難できる体力・脚力の維持が大事。身近な場所である公民館などで体操教室を行うことでコミュニティの再生にもつながるのではないか。

答 (町長)

避難するための体力や脚力の維持は非常に大事だと考えている。今後も、

地域の積極的な活動に対し、講師を派遣するという形で支援を考えている。

問 防潮堤整備の進捗状況は。

答 (町長)

松崎海岸の防潮堤建設は県が主体で、基本設計が本年6月末完了予定。

答 (産業建設課長)

石部・雲見の整備時期は未定。松崎海岸の動向を見ながら検討していく。

問 ガイドの養成を

答 講座開催を検討

問 グリーンツーリズム

協議会と連携して、2030松崎プロジェクトの中でツーリズムに関わる人材の育成ができないか。

答 (町長)

地域資源の魅力を伝えるガイドの育成は必須。事業を委託している松崎町振興公社も交えインストラクター養成講座の開設の検討をしたい。

問

コロナ後のイベント再開は

答

地域の皆さんと話し会って



藤井昭一 議員



問 コロナが5類になり、町内の各種イベントを再開するつもりはないか。

答 (町長)

今年度の重文まつりは、地域の区長さんが中心となる実行委員会と協議して、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止が決まった。今後も地域の皆さんと話し合い、決めていきたい。

問 中高生が地域に愛着が持てるように地域のイ

童福祉の機能を担っているが、慢性的に職員が不足しており手厚い支援ができていないと聞くが。

答 (町長)

現在、職員を募集しているが、なかなか集まらないのが現状である。引き続き、募集をしていきたい。

問 ファミリーサポートセンター事業(※)の導入を考えてみては。

答 (町長)

近隣の市町でも導入されている。ニーズを確認しながら実施を検討していきたい。

問 児童福祉の対策は

答 子育て施策は重要

問 児童館では、放課後児童クラブや一時預かりなどさまざまなまちの児

問 放送が聞こえない

答 現在調査中

問 石部地区での町政懇談会において、防災個別受信機では町内放送が途切れてしまうとの話があった。災害時などこのようなことがあると大きな問題と考えるがどうか。

答 (総務課長)

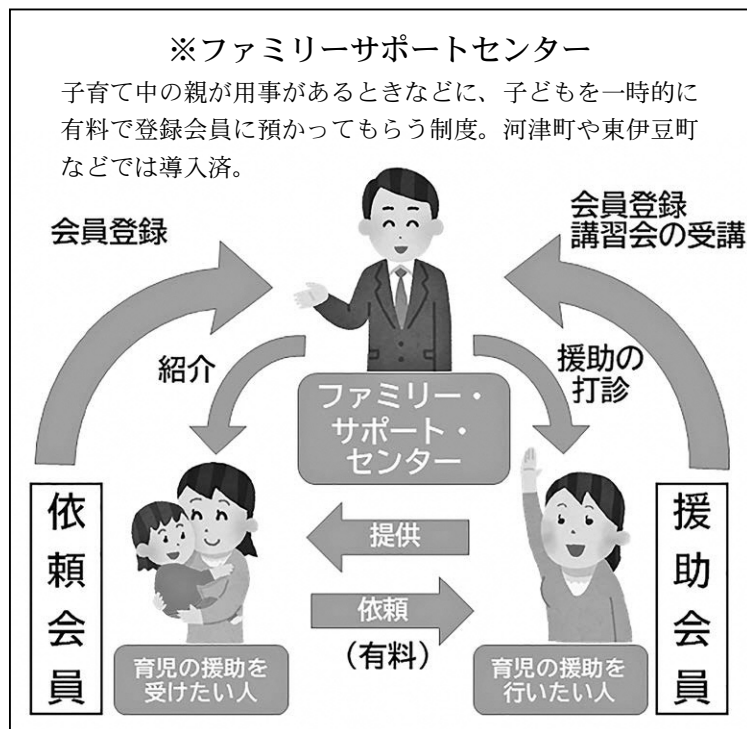
大変大きな問題と捉える。

ている。業者と一緒に現在調査中である。

問 休止中の松崎町公式ラインアカウントを利用して、町民がより便利に町のさまざまな情報を容易に得られるような仕組みを考えてみてはどうか。

答 (町長)

現在、庁内若手プロジェクトチームで検討中である。





新たに設置された浄水施設（雲見）



高橋良延 議員



問 計画実施には財政計画の策定を

答 財政シミュレーションを行う

問 総合計画を財政面で担保するため、財政計画が策定されていると思うが収支の見通しは。

答（町長）

財政計画は策定していないが、時代の変化も激しく、先の見通しを立てることが困難。今後の大規模事業はシミュレーションを行い、適切な規模の中で執行していく。

問 コンパッションタウンは、具体的に何をしていくのか。

答（町長）

事業内容は、今あぶり出しをしている。事業と財政規模を勘案しながら計画を立てていく。

問 診療所を見直し、新たな医療体制の構築を目指すとのことだが、いつまでに何をやるかロードマップを示すべきでは。

答（町長）

地域包括ケアシステム構築のため、専門家と話をしていく中で、必要な

予算が出てくると思う。今後、補正予算などで議論していただく。

問 コミュニティづくりのうえで、地区サロン活動に支援の考えはあるか。

答（町長）

社会福祉協議会が音頭を取っているが、足りない部分もあるとのことなので、連携して進めていきたい。

問 経済の立て直しを

答 支援策を検討する

問 新型コロナウイルスは、感染症分類が5類になったが、地域の経済対策の取り組みは必要ではないか。

答（町長）

今年度になり臨時交付金の割り当てがあったので、6月補正予算にプレミアム商品券事業を予算措置した。

問 観光産業にも支援が

必要ではないか。

答（町長）

観光協会と、広報を一緒にいき、誘客に力をいれていく。今後、関係者で情報共有しながら支援を検討していく。

問 雲見水道の復旧方針は

答 基本計画策定後に

問 雲見水道の復旧方針を早期に示すべきでは。

答（生活環境課長）

今年度から雲見簡易水道の基本計画を2年から3年かけて策定していく。地区全体計画は、その結果により対応する。

問 雲見の水道水白濁の改善策をどう考えるか。

答（生活環境課長）

水質は、調査の結果問題は無いが、白濁は基本計画とは別に専門家に伺い、どのような方法があるのか、どのような調査が必要か別途考えたい。

問 花畑の存在価値は何か

答 春を代表するイベント



田中道源 議員



問 花畑の運営に町はどう関わっていくのか。

答 (町長)

官民で連携し、実行委員会が主体的に運営し、対応の難しい費用負担などを町で協力する。

問 駐車場や警備員についてどのように考えているか。

答 (町長)

駐車場対策は必要だと考える。実行委員会と連携して改善に取り組む。

答 (町長) 近い考えを持っていて。特定地域事業組合などを議論している。必要な人材の募集要項なども検討する必要がある。

問 町有林の調査は

答 検討後、見送った

問 当初予算の町有林現地調査費用447万7千円を3月議会の補正予算で削除した理由は。

答 (町長)

調査後の目的が定まっていないので削除した。

問 当初予算に計上した理由は何か。

答 (産業建設課長)

議員の要望があったので計上した。

問 形だけ予算を計上したということか。

答 (産業建設課長)

予算要求した時には担当しておらず、理由はない。

問 3月議会の補正予算で削除されたこの予算は、9月議会の決算には出ずに、当初予算に計上されたことも記載されない。うやむやになってしまっているが。

答 (産業建設課長)

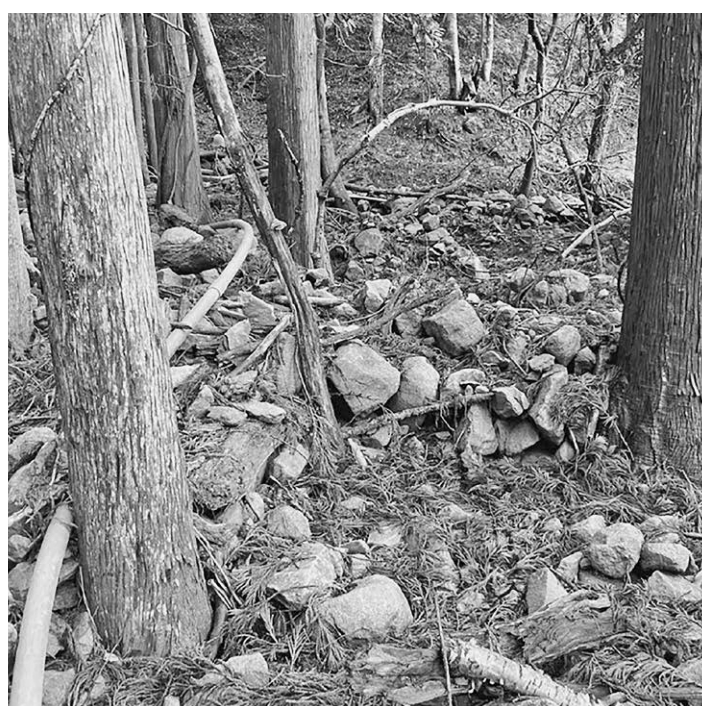
予算要求した当時は執行するつもりでいたと思う。予算に計上しても執行できないこともある。

問 実際に町有林を視察したところ、整備が必要

と思われるところがあつた。遊歩道脇の倒木や、沢が土砂でつぶれているところもあった。現状を知らねば、対策できないと思うが、調査を行う考えはないか。

答 (町長)

全ての町有林の調査は困難である。砂防、治山の視点から、人家の近くや災害の見込まれるところは対応していきたい。調査するかは、ここでは回答しかねる。



今回視察した町有林付近の様子



松崎海岸の松林



藤井 要 議員



問 求償権問題の早期解決を

答 法に準じて進めていく

問 平成12年度に弁済協定が結ばれてから約24年を経過している求償金があるが内容は。

答 (町長)

町が発注した工事が原因で隣接する建物などに損傷を与え損害賠償請求が提起され、裁判の結果、町が業者分を含めて支払い、業者は10年間で町に分割して支払うとの弁済協定が結ばれたものである。

問 返済期間経過後も多額の未回収金が残されているが、町はどのような方針にて回収するのか。

答 (町長)

不履行による未回収金については、毎年度、未納額と利息を通知し、納入をお願いしている。今後関係機関、弁護士と調整しつつ解決方法について協議していく。

問 危険な松の安全管理は

答 小枝の伐採を実施

問 海岸の松が大きくなり、民家の屋根や塀に損傷を与えているが、損害補償など町の対応策は。

答 (町長)

町有地に生えている松は町で管理し、私有地のものは一般的に土地の所有者の管理となっているが、町のシンボリックな景観でもあり、防災防風林としての機能も持っているため、伐採など地域の方と協議しながら対応している。

問 空き家条例の制定を 答 法改正を見極めて

問 海岸の近くに火災で焼け崩れた建物が何年も放置され、倒壊の危険、ごみが捨てられるなど景観・防災からも対策を取るべきではないか。

答 (町長)

火災から5年以上が経過し、景観上、防災上も好ましいとは思っていない。個人の所有物である

が、このまま放置しておくこともできないので、町としての対応を検討する。

問 幼稚園・保育園の統合は

答 今は考えていない

問 最近は回復傾向にあるが、新生児数が少ない。町には幼稚園と保育園があるが、将来を考えた中で、統合や認定こども園的な考えはないか。

答 (教育長)

保育園と幼稚園を一緒にという考えは、今のところ持っていない。幼稚園児が全体で27人と非常に少ないが、何とかしてほしいという声は今のところ聞いていない。出生数を見ると、3歳児以上が20人、2歳児以下が年代ごとに10人台となっているので、数年のうちに対策を考えなくてはと思うので、現場の声を聞き対策をとっていく。

次の定例会は、9月6日(水)からの予定です。

議会のらごき

4月

- 8日 広報編集委員会
- 13日 議会だより第139号発行
- 23日 松崎町議会議員選挙
- 24日 当選証書付与式

5月

- 1日 第3回臨時会
- 15日～16日 新議員研修
- 16日 議会全員協議会
- 23日 町村議会議長・副議長研修会（東京都）
- 25日 重要問題懇談会
議員会工事現場視察
議会だより臨時号発行
- 31日 議会運営委員会
広報編集委員会

6月

- 1日 静岡県地方議会議長連絡協議会定期総会（静岡市）
- 2日 静岡県町村議会議長会総会（静岡市）
- 6日～7日 第2回定例会
- 16日 総務常任委員会日帰り視察研修（南伊豆町・河津町）

表紙の写真「吉田池・半夏生」は文化協会写真部より提供。



この人に
聞きました③⑦
伊豆まつぎ田舎暮らし
サポート隊 隊長
神健一さん

町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、伊豆まつぎ田舎暮らしサポート隊（松崎町移住定住促進協議会）の隊長をさせていただきました。

○活動の内容について教えてください。

私は、サポート隊として、単に移住の相談対応だけでなく、松崎町の魅力的な暮らしのリアルを広く世の中に発信し、こ

の町に興味を持ってもらうこと、移住後も町に溶け込めるような場をつくること、移住者だけでなく空き家対策を中心として、町の皆さんからも頼りになる存在になるということをテーマに活動しています。

○課題や今後の活動は。

課題はたくさんありますが、主に売買や賃貸に出ている空き家や空き店舗が少ないことなどが挙げられますので、これら

の課題に取り組んでいきたいと考えています。

○町への要望はありますか。

要望ではありませんが、松崎町での暮らしは、役場だけではなく、町民やそれを代表する議会の方々、事業者の方々が少しずつ意識を変え、協力し合うことでもっと良くなると思っています。町全体でまちづくりを進められればと考えています。（聞き手 編集委員長）

海鳴り

松崎町議会の問題点は、「議会は何をやっているのかわからない」と言われ、議会活動が町民の皆さまに理解されていないことです。

行政施策のチェック機能として議会がありますが、議会として町当局に対し政策提言をあまりしていないことにも問題があると思っています。

議会活動を町民の皆さまに理解していただく方法として、現在行っている広報活動の見直し、議会が主体となつて懇談会などを開催し、直接町民の皆さまと対話できる機会をつくつていきたいと考えています。

町民の皆さまの声を踏まえ、町当局に対する政策提言をし、町と建設的な対話をしていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

（議長）